

6月市議会定例会

一般質問

6月市議会定例会では、6月

12日(火)から6月14日(木)の3日間の日程で、10人の議員が一般質問を行い、市政について、市長をはじめ関係理事者の考え方をなどをいただきました。紙面では一部の質問を要約し、質問順に掲載しています。なお、未掲載の質問などは、会議録やホームページをご覧ください。

6月12日(火)

自民クラブ

仙波憲一議員(30分)



(1) 地方創生について

① C C R C

② Hei-o!NEWプロジェクト

③ シティブランド戦略

(1) ① C C R C

問 地方創生を進める新居浜市の施策、C C R Cとは、第二の人生を地方で始めたいという都

市圏の高齢者に向けた制度であり、地方への人の移動を促すものである。新居浜市での取り組み状況はどうか。C C R Cを推進する中で、要介護者が増えた場合どうするのか。

答 平成27年度策定の新居浜市総合戦略で企業城下町版C C R Cの導入を位置づけ、平成28年度に企業城下町版生涯活躍のまち基本構想として、リ・クリエイト・コミュニティ新居浜を取りまとめ、平成29年度にR C C新居浜アクションプランとして、事業推進計画を策定した。計画に取り組む際には、地域包括ケアシステムとの連携が円滑に行えるよう介護予防などに係る地域支援事業の充実を図る。

(1) ② Hei-o!NEWプロジェクト

問 都市間競争では、「街の売り込み」が重要になってくる。旧態依然とした対応で魅力が増すとは思えないが、今後の取り組みは。「都市機能誘導区域」を定めているが、その過程で地域の誇りやアイデンティティーの醸成についての考えは。

答 魅力あふれる新しい新居浜市をつくるため、都市基盤、産

業、福祉、教育、文化、スポーツ、安全、移住・定住の8分野で35事業のプロジェクトを積極的に推進する。このプロジェクトが自分の住んでいる地域を見詰め直すきっかけとなり、これまで気づかなかった良さや魅力を再認識してもらうことで、市民の皆様の誇りや愛着の芽生えにつながると考えている。

公明党議員団 高塚広義議員(30分)



(1) 防災行政について

① 業務継続計画(B C P)

② 防災体制

③ 浸消式消火

④ 消防自動車に係る準中型免許の新設

⑤ 震災時の火災防止

(2) 教育行政について

① ライフキャリア教育

② 心肺蘇生教育とA E D

(3) 生活困窮者自立支援制度について

(4) イエローチョーク作戦について

(1) ⑤ 震災時の火災防止

問 地震により倒壊した家電や断線した電気コードなどが、電気を復旧した際に、火元となり起こる火災を通電火災という。

通電火災を防止するため、震度5以上の地震の揺れを感じし、自動で電気を遮断する感震ブレーカーの設置を推進し、設置費を助成すべきでは。

答 感震ブレーカーについては、防災に関する出前講座での説明や別子銅山記念図書館、市内スーパリーのロビー展での展示紹介を行っているが、引き続き市政だよりやホームページ、FM放送、チラシの配布などを通じて周知啓発に努める。設置費用の助成は、普及促進につながると考えており、他市の状況や国の動向なども参考に調査研究する。

(3) 生活困窮者自立支援制度について

問 生活困窮者自立支援法等改正で「自治体が困窮者への自立相談支援に加えて、就労準備支援や家計改善支援の各事業を一体的、効果的に行う場合に10月より国の財政支援を拡充する」とうたわれている。本市として、ぜひ効果的な任意事業への取り組みを行うべきでは。

答 就労準備支援事業は、自立に向けた有効な支援の一つと認識しているが、当面は支援の入

り口である自立相談支援事業のさらなる充実を図る。国は平成34年度に向けて自立相談支援事業、就労準備支援事業、家計相談支援事業の一体的実施を推進していることから、国の動向を注視し、包括的な支援体制の強化を図るため、ニーズを調査の上、必要な任意事業の検討を進める。

いづみ会

篠原 茂議員 (30分)



(1) 市税収入減少への対応と福祉・環境政策の財源について

(2) 道路整備の促進について

(3) 介護施設の運営推進会議について

(4) 市民、職員を対象とした人材育成について

(1) 市税収入減少への対応と福祉・環境政策の財源について

問 人口減少が続く納税者も減少している中で、住友化学ではメチオニン関連事業で市外から多くの方が就業し、経済活性化に貢献しているが、平成32年度の法人市民税は減税もあり、今年度より約6億7千万円の減収見込みである。市独自の対応策を考えているのか。

答 基金の収益拡大を図るため、本年度より基金の一括管理を開始している。さらに、ふるさと納税の返礼品の魅力充実に加え、インターネットを通じて広く資金を集めるクラウドファンディングなどの新たな財源確保策についても調査研究し、検討する。また、歳出についても、事業の効果を検証し、制度設計を見直すなど、より効果率的な行政運営を継続する。

(2) 道路整備の促進について

問 国道11号バイパスや県道郷松の端線は、都市間競争の観点から、どのような戦略やアピールポイントで国に働きかけ、早期開通に結びつけていくのか。また、ビッグデータを活用した生活道路の交通安全対策への取り組みは。

答 国道11号バイパスは、本市、四国中央市、西条市の拠点を結ぶ東西広域道路であり、コンパクト・プラス・ネットワークの形成に不可欠な重要路線であることなど、県道郷松の端線は、国道11号バイパスなど他の交通拠点とのネットワーク形成により、物流の効率化が図られ、企業立地の促進など地域経済の

好循環が図られることなどがアピールポイントと考えている。また、ビッグデータを活用した交通安全対策については、国、県の動向や先進事例等を調査研究したい。

6月13日(水)

新居浜市民クラブ

米谷和之議員 (30分)



(1) まちづくり協働オフィスの現状と今後について

① 土日休館への変更

② 協働オフィスの機能

(2) 自治会の加入率向上について

① 地域コミュニティ再生事業の目的と成果

② 今後の取組み

(3) 観光振興計画について

① 観光客の現状分析

② インバウンド観光客対策

③ 観光案内所

④ コンサルタントへの業務委託

(2) 自治会の加入率向上について

問 4年間で2億6千万円もの自治会への交付金が成果を上げていないのでは。おのおの地域環境やライフスタイルに応じたコミュニケーションを指そうと

する本気の試みを支援するためには、校区単位ではなく、単位自治会の支援に大きく舵を切るべきではないか。

答 今年度の計画では、各校區で何が必要かを十分協議し、環境整備や三世代交流など地域の特性を踏まえて創意工夫した事業に取り組むと伺っている。一方で、地域の新たな課題への対応も考慮すべきと考えており、これまでの地域の主体的な取り組みは尊重しつつ、時代に応じた効果的な自治会への財政支援や活動支援のあり方、新たな取り組みへのサポート体制などの検討を始めたい。

(3) 観光振興計画について

問 観光案内所についての記載がないが、計画に位置づけるべきではなかったのか。コンサルタントに業務委託しているが、その専門的な見地からの現状分析やターゲットの絞り込みなどが見受けられない。コンサルタントの活用が十分にされたのか。

答 観光振興計画の今後5年間に取り組むべき施策で、駅およびその周辺施設の利活用と情報発信機能等の充実を図ることを

6月14日(木)

位置づけ、取り組みを進めることとしており、今後利便性が高い場所を調査、分析し、設置場所を検討したい。また、コンサルタントについては、専門的かつ客観的な視点での調査、分析に加え、本市の地域経済構造分析を活用し、産業連関表によるKPI達成時の経済波及効果を算出するなど、現状に即した計画策定ができたと考えている。

自民クラブ

小野辰夫議員 (30分)



- (1) 中学校卒業までのインフルエンザ予防接種の助成について
(2) 生活保護の現状と課題について
(3) 公園の現状と高津校区の公園整備について
(4) 非自治会員のごみ出しについて
(5) 小児科不足への対応について

問 65歳以上の高齢者には、インフルエンザ予防接種が千円で受けられる制度がある。この制度を中学校卒業までの子供にできないか。13歳未満では、2回接種が有効と言われており、本人負担だと、多子家庭にはかなりの経済的負担になる。検討を

お願いしたい。

答 インフルエンザワクチンは終生免疫ではないため、公費助成では経年的な財政負担が生じ、また時期や場所で行うウイルスが異なるため、任意接種が適当と考える。しかし、子育て支援の充実という点から、高校受験を控えた中学3年生を対象とした公費助成について、助成方法や他市の状況などを調査し、接種医療機関などの調整を含め検討したい。

(5) 小児科不足への対応について

問 地域医療を支えている地方の病院や診療所が、全国的に深刻な医師不足に陥っている。その中でも特に問題なことは、小児科医師の不足である。小さな子供を抱える家庭では深刻な問題である。川東地区には小児科が一軒もない。早急な対応をお願いしたい。

答 市民、医療、行政が一体となって、適正な受診啓発を行うなど、地域の医療資源を守る取り組みを行うとともに、平成29年度には、医師確保奨学金貸付制度や医療機関新規開業等支援事業補助金制度を創設し、医師確保対策に取り組んでいる。今

後も、関係機関に対し制度の一層の周知を図るとともに、国や県に対しても地域医療を守るために必要な実効性のある措置を講ずるように要望する。

無会派

井谷幸恵議員 (10分)



- (1) 住宅リフォーム助成制度の創設について
① 市民も事業者も喜ぶ制度
② 地域経済の活性化
(2) 図書館分館の増設について
① 身近な場所にみんなに喜ばれる図書館分館
② 将来も必要な楽しい図書館分館
(3) 通信サービスのトラブル解消について
① 窓口を求める相談者
② 消費生活センターの役割

無会派

岡崎溥議員 (10分)



- (1) 議員等によるパワハラについて
① 現在までの状況と検討結果
② パワハラ予防と解決
③ 記録、公開、条例化
(2) 消防について
① 高齢化と救急出動の増大
② 南海トラフ地震等による工場の災害対策
③ 職員の充足率の引き上げ

自民クラブ

伊藤謙司議員 (30分)



- (1) いじめ対策について
(2) 小中学校の統廃合について
(3) 学校規模の格差について
(4) 中学校部活動について
(5) 体育施設整備について
(6) 旧労働会館跡地について
(7) 市有地の売却について
(5) 体育施設整備について

問 公共の体育館整備管理について、文部科学省から体育館の床に対する管理方法が水拭きおよびワックスがけは不具合発生の観点から、行うべきではないとされている。床の劣化、床が滑り出した時などの体育館の床の保守管理についてどうしているのか。

答 小中学校体育館については、原則ワックスがけは行わず、日常的、定期的な点検で不具合がある場合は、応急対応や補修対応を行うこととしている。ワックスがけが必要な施設については、水分の影響を受けないよう実施したい。また、市民体



新居浜市議会事務局

←新居浜市議会のホームページへ
映像配信や会議録でさらに詳しく！

こども会

三浦康司議員 (30分)



育館、山根総合体育館、多喜浜体育館については、日常的、定期的な点検を行っており、モップで拭き清掃している。ワックスがけは、専門業者に委託して実施している。

(6)旧労働会館跡地について

問 昭和34年、昭和37年、昭和48年に建設された古い建物で、照明器具などかなり劣化し、危険な状態である新居浜市所有の旧労働会館(市営野球場東側)の建物および土地の今後の対応についてはどのようにされるのか。

答 建物解体条件付きでの土地の売却を基本としているが、平成29年度に調査した結果、旧労働福祉会館の外壁にアスベストを含有しており、建物を解体した上で土地の売却を行う方法も検討している。アスベストの適正処理により、解体費が大幅に高くなるが見込まれるため、早期の売却に向け、財源、工法等の調査検討を行っており、早期に着手できるように協議を進める。

- (1)老後破産について
- (2)債権管理対策について
- (3)国体後の対応について
- (4)新居浜駅南について

(1)老後破産について

問 全国で約二百万人いる老後破産状態の高齢者の状況を本市は把握されているか。本市では社会福祉協議会に、破産状態の高齢者を含む生活困窮者の支援を行なう窓口があるが、支援員が相談者に寄り添い関係機関と連携し解決に向けた努力は十分機能しているか。

答 老後破産該当者は、潜在的に一定数いると思われるが、実態は十分に把握できておらず、市や関係機関での相談を通じた情報の共有、アウトリーチなどで対象者を把握し、必要な支援につなげるよう努めている。また、支援員については、相談者に寄り添い、アセスメント等により、状況に応じた適切な支援を行っていると考えている。今後関係機関と連携し、早期支援につなげるように努める。

(3)国体後の対応について

問 市制80周年にえひめ国体が開催され市内で開かれた競技も

優勝するなど盛り上がった。この成果を今後はどう生かすのか。本市では2020年東京オリンピック事前合宿にサウジアラビア重量挙げチームの招聘を計画している。一流選手に触れる事が刺激になるかがか。

答 本市開催の4競技については、新たな重量挙げ練習場やトップアスリート事業などにより競技力向上に取り組みとともに、オリンピック事前合宿の誘致にも努めている。今後も国体レガシーを継承し、さらなる競技力向上を目指し、次世代へ引

き継ぐ。また、新たな重量挙げ練習場は、市民が自由に見学できる施設にしたいと考えているが、チーム事情により非公開となる場合がある。

無党派
神野 恭多議員 (10分)



(1)健康づくりと医療体制の充実について

- ①がん対策基本法
- ②第3期がん対策推進基本計画
- ③がん検診の推進
- ④救急医療体制の維持、確保

9月市議会定例会

時間 午前10時開会 お気軽に傍聴にお越しください。
場所 本会議の傍聴：市役所7階本会議場傍聴席
委員会の傍聴： // 6階各委員会室傍聴席

開催日	内 容
9月4日(火)	議案上程、説明、質疑、委員会付託
9月11日(火)	一般質問 仙波 憲一 議員 (40分) (代表) 藤原 雅彦 議員 (40分) 大條 雅久 議員 (40分)
9月12日(水)	一般質問 岩本 和強 議員 (40分) (代表・個人) 永易 英寿 議員 (30分) 伊藤 優子 議員 (30分)
9月13日(木)	一般質問 太田 嘉一 議員 (10分) (個人) 近藤 司 議員 (30分) 神野 恭多 議員 (10分) 米谷 和之 議員 (10分) 井谷 幸恵 議員 (10分) 岡崎 溥 議員 (10分)
9月14日(金)	福祉教育委員会開催 (予定) 環境建設委員会開催 (予定)
9月18日(火)	企画総務委員会開催 (予定) 市民経済委員会開催 (予定)
9月21日(金)	委員長報告、討論、採決